

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つながるチャコ第1教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日 ~ 令和8年1月19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 3
○従業員評価実施期間	令和8年1月22日 ~ 令和8年1月26日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営規程、支援プログラム、利用者負担、支援の内容について細やかに説明し、保護者に理解して頂いていること。	わかりやすい言葉で伝えるようにしている。	今後も保護者の理解を得られるように丁寧に説明していく。
2	個別支援計画書作成にあたり、保護者のご要望を伺いながら作成し、それに基づいた支援を提供していると感じて頂いていること。	面談で保護者の要望をお伺いし、お子様の様子をしっかりと観察するようにしている。	今後も面談時に保護者の要望を伺うとともに、日々の支援について密に保護者と共有していく。また、職員間で小さなことも共有していく。
3	保護者と密に情報共有をしていること。	連絡帳だけでは伝わりにくいことは、お電話やお会いして伝えるようにしている。	今後も保護者に丁寧に対応していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流がないこと。	地域の他の子どもとの交流の機会がないこと。	町内会や学校と連絡を取り合い、交流の機会を検討していく。
2	父母の会がなく、保護者同士の交流の場が少ないこと。	これまで保護者からのご要望がなく、父母の会は設置していない。	療育参観のときに保護者同士が交流しやすい雰囲気づくりをしていく。
3	安全計画について計画どおりに実施しているが、保護者への周知が不足していること。	訓練を行ったときは連絡帳等でお知らせしているが、安全計画に基づいているものと認識されていない。	安全計画に基づいて訓練等を行っていることを、機会をみて伝えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 つながるチャコ第1教室

公表日 令和 8年 2月 6日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たしています。活動内容に合わせて机やイスを移動しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		放課後等デイサービスの人員基準を満たしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		整理整頓を徹底し、余分な刺激が利用者に影響を与えないようにしています。入室後の片付けから、トイレ、雑席まで、動線を意識し席の配置を工夫しています。また、一日の大きな流れを掲示したりホワイトボードに書くことで情報伝達しています。職員が介助することで車いすでの利用は可能ですが、トイレはバリアフリーにはなっておりません。今後の検討課題です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・換気を徹底し、衛生に気を配っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は設けておりませんが、パーティションを用いて個別化した空間を作ることができます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援について振り返りを行い、気づきや問題点について話し合いを行なっています。全体会議・毎朝の朝礼で社内全職員で情報共有しています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回アンケートを実施し、業務の改善に繋げています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談を行い、意見を聞く機会を設けています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県からの通知や連携機関からの案内により研修に参加しています。受講後は内部研修として全職員へ伝達しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPにて支援プログラムを公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	○		日頃の活動の中での児童の課題を踏まえ、保護者と相談しながら計画を作成しています。
	13 個別支援計画書を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		原案に基づいて個別支援計画書作成会議を開き、職員で共通理解を得た上で個別支援計画書を作成しています。
	14 個別支援計画書が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は職員間で共有しています。日々のミーティングで、支援が計画に沿っているか確認しながら支援を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用しています。出来る限り細かく確認し、職員間で情報共有しています。日々の行動について気が付いたことがあれば、ノートに記録しています。
	16 個別支援計画書には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインにのっとり、個別支援計画書に項目と支援目標、具体的な支援内容を設定しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間計画に基づき職員で話し合い、1ヶ月ごとの療育プログラムを作成しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		療育プログラム作成時に、曜日による偏りがないように留意しています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成し、支援が行われているか。	○	集団での療育を基本としています。その中で児童の様子を観察し保護者の希望を取り入れて個別支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝のミーティングでその日の利用児童・療育内容・送迎などを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌日の朝礼で振り返りを行い、前日の支援の中での気付きや課題を職員間で共有しています。特に問題と感じられるケースについては、毎月開いている社内全体会議で話し合い今後の支援に繋げていくようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	個人ごとの「お客帳ノート」（1日に1枚）にその日の支援内容・キャンセルの理由・その他の特記事項・利用料金等を記録しています。全体の支援については「業務日誌」に記録しています。そのほかに、問題点や気付いた事をノートに記入しておき、支援の振り返りや見直しに活用しています。
	23	定期的に面談（モニタリング）を行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月に1回保護者と面談を行います。日頃の様子をお伝えするとともに、家庭での様子を伺ったり個別支援計画についての希望をお聞きしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	身辺自立、集団適応、学習支援を三本柱に、日々の支援を行っています。その中で、日常生活の基本的な動作や、遊びの中でルールを守ることが身に付くように支援しています。また、学習支援では、自己肯定感を高めるような工夫をしています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動の中で、個々に応じて選択する機会を設けるようにしています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に職員間で話し合いを持ちその児童の状況をまとめています。会議には児童発達支援管理責任者と支援員が出席し、より細かく児童の様子を各機関へお伝えしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	市役所や学校、相談支援事業所と連絡を取り合う体制が整っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎時に児童の様子をお聞きするとともに、1か月分の予定表を頂き下校時間を確認しています。急な時間の変更の際は、保護者の方や学校から事前に連絡を頂くなど連絡体制が整っています。
関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談支援事業所や児童発達支援事業所と連携し情報を頂いています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	小・中学生を主な対象者としていますので障害福祉サービス事業所への移行は現在のところありません。中・高校生対象の放課後等デイサービスへ移行する場合には、サービス担当者会議への出席や相談支援事業所を通して情報を提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	研修の案内を頂いた際はできるだけ参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	機会があれば交流していきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援協議会児童支援部会に積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎日の送迎時や連絡帳でできる限り細かく丁寧にその日の様子をお伝えするように心がけています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者からご希望がある場合には定期的に面談を行い、ご家庭での様子の聞き取りと困りごとへの助言を行っております。また、本社と合同で保護者の方にご参加頂けるセミナーを開催しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	見学・契約の時に資料をお渡しして説明しています。変更があった場合には文書でお知らせし、新しいものをお渡ししています。
	37	個別支援計画書を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談でご希望を伺い、それに基づいて個別支援計画書を作成しています。
	38	個別支援計画書に基づいて支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。	○	面談や送迎時にお話をした上で、個別支援計画書の同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者からお話や相談があった際は丁寧に話を聞き対応するようにしています。相談支援事業所や本社と連絡を密にし、保護者の不安が軽減するように心がけています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会や父母の会はありません。療育参観日を設けており、その際に保護者同士が交流する機会があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		第三者委員会があります。契約時に説明しています。苦情があった際は本社の指示も受けながら迅速かつ丁寧に対応するようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPとSNSを中心に、活動の内容などを保護者や地域の方に情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に「個人情報の提供に関する同意書」を頂いています。個人情報の流出が無いように全職員に周知徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		次に自分が何をしたらよいか見て分かるような集団形成を行っています。保護者の方とは連絡ノートで情報のやりとりをしています。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		つながる広場等、また療育を利用したことがない方向けの行事を開催しています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には会議で周知しています。ご家族には契約時に説明しています。また、訓練は月1回行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しています。年に2回、研修及び訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントのときや契約のときにお伺いしています。てんかんや重大なアレルギー等については、医師からの指示書を頂いています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	お弁当やおやつは保護者に準拠して頂いています。お弁当の注文も出来ませんが、その際にはアレルギーの有無を再確認するとともにアレルギー対応の弁当ではないことを説明したうえで注文を受けています。アレルギーを起こすものや、もしアレルギー反応が出たときの対応方法については契約時に保護者から聞き取りを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて、点検や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策について、契約時に取り組み内容を説明しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、毎日の朝礼と全職員での会議で情報を共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		県からの通知や本社の指示により研修を受講しています。また、定期的に社内研修を行っています。受講後には内部研修として全職員に伝達しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	○		身体拘束を行わないということを、会社全体で統一した認識を持って療育を行っています。そのため、現在のところ個別支援計画書への記載はありません。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つながるチャコ第1教室

公表日 令和8年2月6日

利用児童数 15名

回収数 3名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1	0	0		ありがとうございます。今後も施設内外の清掃や点検整備、整理整頓など、皆様が安心安全に利用できるよう維持管理に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		当事業所では「身辺自立」「集団適応」「学習支援」を療育の三本柱として支援しています。身辺自立ではスモールステップの目標を積み重ねていくことで、お子様方が苦手なことでもチャレンジしたり、みんなと一緒に取り組む事で達成感や自己肯定感を感じながら、成長していけるよう支援を行っています。 集団適応では苦手な事や新しいことでもみんなと一緒に取り組むことで「やってみたら楽しかった」と思えるのが集団療育の強みだと思います。自分から挑戦したいと思えるような魅力あるプログラムを作成し支援してまいります。また歩行訓練で集団に合わせて一定のペースで歩くことで脳が活性化され、集団適応できることを目的としております。悪天候のときは室内での活動を充実させるなど、天候状況や安全確保に配慮し、今後も実施してまいります。 学習支援では職員全員がお子様の様子に合った「ちょうどいい」教材について話し合いながらそれぞれにあったものを選び、お子様が自己肯定感を高めながら、学んでいけるよう取り組んでいます。また、将来の就労に向けて、あいさつや姿勢などを学ぶ場として力めています。今後もお子様のそれぞれの様子を見極めながらより良い支援が行えるよう努めてまいります。 日ごとの療育の中で気づいた事をご家庭と共有させていただき、お子様のさらなる成長につなげられるよう、今後も細やかな情報提供をしていきます。 お子様方が将来社会で自立した生活を送っていただけるよう、お子様とご家族、関係機関とも連携を取り、将来につながる支援を心掛けてまいります。
	6	事業所が説明している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されていると思いますか。	2	1	0	0		
	8	個別支援計画書には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	9	個別支援計画書に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	2		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		保護者の皆様には連絡帳などで日頃の様子を丁寧に教えて頂きありがとうございます。つながるチャコでも、日頃の様子を連絡帳や送迎の時などに詳しくお伝えできるよう努めていきます。お子様と保護者の方に安心してご利用していただくために、気軽に話せる雰囲気づくりに努めてまいりますので、お子様の様子で気になることなどありましたらいつでもお気軽にお声かけください。
	13	個別支援計画書に基づき、支援内容の説明がなされましたか。	2	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、非常時の対応（事故・災害・感染症等）について、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1	0	1		安全を確保し、お子様方に安心して過ごしていただけますよう、引き続き月1回の避難訓練や防災計画の整備など行っておりま す。 感染症情報や非常災害時の情報伝達、事前のお便り配布など、迅速で適切な情報提供で、安心してご利用していただけるよう努めてまいります。 コロナウィルスやインフルエンザなどの感染症予防についても今後も細心の注意を払いながら、続けてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための取り組みについて周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	1	0	0		今後も魅力のある集団活動プログラムを作成して集団の中で自立につながっていただけるよう、きめ細かにお子さまの様子を見ながら支援をして参ります。また、お子さまの特性や様子に合わせ、より良い成長のために学校や、相談支援事業所、関係機関との連携も意識しながら、安心してご利用していただけるよう努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つながるチャコ第2教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年1月22日 ～ 令和8年1月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営規程、支援プログラム、利用者負担、支援の内容について細やかに説明し、保護者に理解して頂いていること。	わかりやすい言葉で伝えるようにしている。	今後も保護者の理解を得られるように丁寧に説明していく。
2	個別支援計画書作成にあたり、保護者のご要望を伺いながら作成し、それに基づいた支援を提供していると感じて頂いていること。	面談で保護者の要望をお伺いし、お子様の様子をしっかりと観察するようにしている。	今後も面談時に保護者の要望を伺うとともに、日々の支援について密に保護者と共有していく。また、職員間で小さなことも共有していく。
3	保護者と密に情報共有をしていること。	連絡帳だけでは伝わりにくいことは、お電話やお会いして伝えるようにしている。	今後も保護者に丁寧に対応していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流がないこと。	地域の他の子どもとの交流の機会がないこと。	町内会や学校と連絡を取り合い、交流の機会を検討していく。
2	父母の会がなく、保護者同士の交流の場が少ないこと。	これまで保護者からのご要望がなく、父母の会は設置していない。	療育参観のときに保護者同士が交流しやすい雰囲気づくりしていく。
3	安全計画について計画どおりに実施しているが、保護者への周知が不足していること。	訓練を行った際の周知方法が事業所内で共有不足だった。	安全計画に基づいて訓練等を行った際の保護者の方への報告方法を検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月6日			
つながるチャコ第2教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		基準を満たしています。活動内容に合わせて机やイスを移動しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		放課後等デイサービスの人員基準を満たしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		整理整頓を徹底し、余分な刺激が利用者に影響を与えないようにしています。入室後の片付けから、トイレ、雑居まで、動線を意識し席の配置を工夫しています。また、一日の大きな流れを掲示したりホワイトボードに書くことで情報伝達しています。職員が介助することで車いすでの利用は可能ですが、トイレはバリアフリーにはなっておりません。今後の検討課題です。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		清掃・消毒・換気を徹底し、衛生に気を配っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		個室は設けておりませんが、パーテーションを用いて個別化した空間を作ることができそうです。	
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐		支援について振り返りを行い、気づきや問題点について話し合いを行なっています。全体会議・毎朝の朝礼で社内全職員で情報共有しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		毎年1回アンケートを実施し、業務の改善に繋げています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		定期的に面談を行い、意見を聞く機会を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐	今後、検討していきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		県からの通知や連携機関からの案内により研修に参加しています。受講後は内部研修として全職員へ伝達しています。	
適切 な 支 援 の 提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		HPにて支援プログラムを公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	☐		日頃の活動の中での児童の課題を踏まえ、保護者と相談しながら計画を作成しています。	
	13 個別支援計画書を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		原案に基づいて個別支援計画書作成会議を開き、職員で共通理解を得た上で個別支援計画書を作成しています。	
	14 個別支援計画書が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		個別支援計画書は職員間で共有しています。日々のミーティングで、支援が計画に沿っているか確認しながら支援を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		社内共通のアセスメントシートを使用しています。出来る限り細かく確認し、職員間で情報共有しています。日々の行動について気が付いたことがあれば、ノートに記録しています。	
	16 個別支援計画書には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐		ガイドラインののっとり、個別支援計画書に項目と支援目標、具体的な支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		年間計画に基づき職員で話し合い、1ヶ月ごとの療育プログラムを作成しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐		療育プログラム作成時に、曜日による偏りがないように留意しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成し、支援が行われているか。	○	集団での療育を基本としています。その中で児童の様子を観察し保護者の希望を取り入れて個別支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝のミーティングでその日の利用児童・療育内容・送迎などを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌日の朝礼で振り返りを行い、前日の支援の中での気付きや課題を職員間で共有しています。特に問題と感じられるケースについては、毎月開いている社内全体会議で話し合い今後の支援に繋げていくようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	個人ごとの「お客様ノート」（1日に1枚）にその日の支援内容・キャンセルの理由・その他の特記事項・利用料金を記録しています。全体の支援については「業務日報」に記録しています。そのほかに、問題点や気付いた事をノートに記入しておき、支援の振り返りや見直しに活用しています。
	23	定期的に面談（モニタリング）を行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月に1回保護者と面談を行います。日頃の様子をお伝えするとともに、家庭での様子を伺ったり個別支援計画についての希望をお聞きしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	身辺自立、集団適応、学習支援を三本柱に、日々の支援を行っています。その中で、日常生活の基本的な動作や、遊びの中でルールを守ることが身に付くように支援しています。また、学習支援では、自己肯定感を高めるような工夫をしています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動の中で、個々に応じて選択する機会を設けるようにしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に職員間で話し合いを持ちその児童の状況をまとめています。会議には児童発達支援管理責任者と支援員が出席し、より細かく児童の様子を各機関へお伝えしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	市役所や学校、相談支援事業所と連絡を取り合う体制が整っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎時に児童の様子をお聞きするとともに、1か月分の予定表を頂き下校時間を確認しています。急な時間の変更の際は、保護者の方や学校から事前に連絡を頂くなど連絡体制が整っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談支援事業所や児童発達支援事業所と連携し情報を頂いています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	小・中学生を主な対象者としていますので障害福祉サービス事業所への移行は現在のところありません。中・高校生対象の放課後等デイサービスへ移行する場合には、サービス担当者会議への出席や相談支援事業所を通して情報を提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	研修の案内を頂いた際はできるだけ参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	機会があれば交流していきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援協議会児童支援部会に積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎日の送迎時や連絡帳でできる限り細かく丁寧にその日の様子をお伝えするように心がけています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者からご希望がある場合には定期的に面談を行い、ご家庭での様子の聞き取りと困りごとへの助言を行っております。また、本社と合同で保護者の方にご参加頂けるセミナーを開催しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	見学・契約の時に資料をお渡しして説明しています。変更があった場合には文書でお知らせし、新しいものをお渡ししています。
	37	個別支援計画書を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談でご希望を伺い、それに基づいて個別支援計画書を作成しています。
	38	個別支援計画書に基づいて支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。	○	面談や送迎時にお話をした上で、個別支援計画書の同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者からお話や相談があった際は丁寧に話を聞き対応するようにしています。相談支援事業所や本社と連絡を密にし、保護者の不安が軽減するように心がけています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会や父母の会はありません。療育参観日を設けており、その際に保護者同士が交流する機会があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		第三者委員会があります。契約時に説明しています。苦情があった際は本社の指示も受けながら迅速かつ丁寧に対応するようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPとSNSを中心に、活動の内容などを保護者や地域の方に情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に「個人情報の提供に関する同意書」を頂いています。個人情報の流出が無いように全職員に周知徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		次に自分が何をしたらよいか見て分かるような集団形成を行っています。保護者の方とは連絡ノートで情報のやりとりをしています。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		つながる広場等、まだ療育を利用したことがない方向けの行事を開催しています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には会議で周知しています。ご家族には契約時に説明しています。また、訓練は月1回行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しています。年に2回、研修及び訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントのときや契約のときにお伺いしています。てんかんや重大なアレルギー等については、医師からの指示書を頂いています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	お弁当やおやつは保護者に準備して頂いています。お弁当の注文も出来ませんが、その際にはアレルギーの有無を再確認するとともにアレルギー対応の弁当ではないことを説明したうえで注文を受けています。アレルギーを軽減するものや、もしアレルギー反応が出たときの対応方法については契約時に保護者から聞き取りを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて、点検や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策について、契約時に取り組み内容を説明しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、毎日の朝礼と全職員での会議で情報を共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		県からの通知や本社の指示により研修を受講しています。また、定期的に社内研修を行っています。受講後には内部研修として全職員に伝達しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	○		身体拘束を行わないということを、会社全体で統一した認識を持って療育を行っています。そのため、現在のところ個別支援計画書への記載はありません。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つながるチャコ第2教室

公表日 令和8年2月6日

利用児童数 35名

回収数 12名

		チェック項目	はい、どちらともいえない、いいえ、わからない				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2	1	2		アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。限られたスペースを有効に使い、環境整備に今後も努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	2	0	1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	1	0		アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。お子様の様子をより詳しくお伝えし、今後も丁寧なサポートに努めてまいります。
	6	事業所が説明している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されていると思いますか。	11	0	0	1		
	8	個別支援計画書には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	9	個別支援計画書に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	4	1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明があげられたか。	11	1	0	0		
	13	個別支援計画書に基づき、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	4	0	0		
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	1	0		アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。安心してご利用頂けるよう、ご家族の方に連絡帳や送迎の時に日頃の様子を詳しくお伝えすることが出来るように努めてまいります。また、気軽に話せる雰囲気づくりに努めてまいりますので、お子様の様子を気になること等がございましたら、お気軽にお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	1	5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか。	8	2	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に連絡やホームページ・SNS等で、活動履歴や行事予定、連絡休前等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	2	2		
	22	個人情報等の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1	0	0		
	23	事業所では、非常時の対応(事故・災害・感染症等)について、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための取り組みについて周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1		
非常時の対応	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	3		4時以降又は薄暗くなつてからの歩行は、行かなくても良いと感じています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	6	2	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	3	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0		アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。当事業所では、療育支援の一環として歩行訓練を行っています。学校より下校時間が遅いため、少し遅い時間に歩行に出ることもありますが、天候やお子様の安全に配慮しながら歩行訓練を行っております。お迎えのご都合等がございましたらご連絡いただくと幸いです。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	6	2	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	3	0	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つながるチャコ第3教室			
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	令和8年1月22日 ～ 令和8年1月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営規程、支援プログラム、利用者負担、支援の内容について細やかに説明し、保護者に理解して頂いていること。	わかりやすい言葉で伝えるようにしている。	今後も保護者の理解を得られるように丁寧に説明していく。
2	個別支援計画書作成にあたり、保護者のご要望を伺いながら作成し、それに基づいた支援を提供していると感じて頂いていること。	面談で保護者の要望をお伺いし、お子様の様子をしっかりと観察するようにしている。	今後も面談時に保護者の要望を伺うとともに、日々の支援について密に保護者と共有していく。また、職員間で小さなことも共有していく。
3	保護者と密に情報共有をしていること。	連絡帳だけでは伝わりにくいことは、お電話やお会いして伝えるようにしている。	今後も保護者に丁寧に対応していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流がないこと。	地域の他の子どもとの交流の機会がないこと。	町内会や学校と連絡を取り合い、交流の機会を検討していく。
2	父母の会がなく、保護者同士の交流の場が少ないこと。	これまで保護者からのご要望がなく、父母の会は設置していない。	療育参観のときに保護者同士が交流しやすい雰囲気づくりをしていく。
3	安全計画について計画どおりに実施しているが、保護者への周知が不足していること。	訓練を行ったときは連絡帳等でお知らせしているが、安全計画に基づいているものだと認識されていない。	安全計画に基づいて訓練等を行っていることを、機会をみて伝えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 つながるチャコ第3教室

公表日 令和 8年 2月 6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たしています。活動内容に合わせて机やイスを移動しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		放課後等デイサービスの人員基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		整理整頓を徹底し、余分な刺激が利用者に影響を与えないようにしています。入室後の片付けから、トイレ、着席まで、動線や座席の配置を工夫しています。また、一日の大きな流れを掲示したりホワイトボードに書くことで情報伝達しています。職員が介助することで申すでの利用は可能ですが、トイレはバリアフリーにはなっておりません。今後の検討課題です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・換気を徹底し、衛生に気を配っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は設けておりませんが、パーテーションを用いて個別化した空間を作ることができます。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援について振り返りを行い、気づきや問題点について話し合いを行なっています。全体会議・毎朝の朝礼で社内の全職員で情報共有しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回アンケートを実施し、業務の改善に繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談を行い、意見を聞く機会を設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県からの通知や連携機関からの案内により研修に参加しています。受講後は内部研修として全職員へ伝達しています。
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて支援プログラムを公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	○		日頃の活動の中での児童の課題を踏まえ、保護者と相談しながら計画を作成しています。
	13	個別支援計画書を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		原案に基づいて個別支援計画書作成会議を開き、職員で共通理解を得た上で個別支援計画書を作成しています。
	14	個別支援計画書が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は職員間で共有しています。日々のミーティングで、支援が計画に沿っているか確認しながら支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用しています。出来る限り細かく確認し、職員間で情報共有しています。日々の行動について気が付いたことがあれば、ノートに記録しています。
	16	個別支援計画書には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインにのっとり、個別支援計画書に項目と支援目標、具体的な支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間計画に基づき職員で話し合い、1ヶ月ごとの療育プログラムを作成しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		療育プログラム作成時に、曜日による偏りがないように留意しています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成し、支援が行われているか。	○	集団での療育を基本としています。その中で児童の様子を観察し保護者の希望を取り入れて個別支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝のミーティングでその日の利用児童・療育内容・送迎などを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌日の朝礼で振り返りを行い、前日の支援の中での気付きや課題を職員間で共有しています。特に問題と感じられるケースについては、毎月開いている社内全体会議で話し合い今後の支援に繋げていくようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	個人ごとの「お客様ノート」（1日に1枚）にその日の支援内容・キャンセルの理由・その他の特記事項・利用料金を記録しています。全体の支援については「業務日誌」に記録しています。そのほか、問題点や気付いた事をノートに記入しておき、支援の振り返りや見直しに活用しています。
	23	定期的に面談（モニタリング）を行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月に1回保護者と面談を行います。日頃の様子をお伝えするとともに、家庭での様子を伺ったり個別支援計画についての希望をお聞きしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	身辺自立、集団適応、学習支援を三本柱に、日々の支援を行っています。その中で、日常生活の基本的な動作や、遊びの中でルールを守ることが身に付くように支援しています。また、学習支援では、自己肯定感を高めるような工夫をしています。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動の中で、個々に応じて選択する機会を設けるようにしています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に職員間で話し合いを持ちその児童の状況をまとめています。会議には児童発達支援管理責任者と支援員が出席し、より細かく児童の様子を各機関へお伝えしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	市役所や学校、相談支援事業所と連絡を取り合う体制が整っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎時に児童の様子をお聞きするとともに、1か月分の予定表を頂き下校時刻を確認しています。急な時間の変更の際は、保護者の方や学校から事前に連絡を頂くなど連絡体制が整っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談支援事業所や児童発達支援事業所と連携し情報を頂いています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	小・中学生を主な対象者としておりますので障害福祉サービス事業所への移行は現在のところありません。中・高校生対象の放課後等デイサービスへ移行する場合には、サービス担当者会議への出席や相談支援事業所を通して情報を提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	研修の案内を頂いた際はできるだけ参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	機会があれば交流していきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援協議会児童支援部会に積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎日の送迎時や連絡帳でできる限り細かく丁寧にその日の様子をお伝えするように心がけています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者からご希望がある場合には定期的に面談を行い、ご家庭での様子の聞き取りと困りごとへの助言を行っております。また、本社と合同で保護者の方にご参加頂けるセミナーを開催しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	見学・契約の時に資料をお渡しして説明しています。変更があった場合には文書でお知らせし、新しいものをお渡ししています。
	37	個別支援計画書を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談でご希望を伺い、それに基づいて個別支援計画書を作成しています。
	38	個別支援計画書に基づいて支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。	○	面談や送迎時にお話をした上で、個別支援計画書の同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者からお話や相談があった際は丁寧に話を聞き対応するようにしています。相談支援事業所や本社と連絡を密にし、保護者の不安が軽減するように心がけています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会や父母の会はありません。療育参観日を設けており、その際に保護者同士が交流する機会があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		第三者委員会があります。契約時に説明しています。苦情があった際は本社の指示も受けながら迅速かつ丁寧に対応するようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPとSNSを中心に、活動の内容などを保護者や地域の方に情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に「個人情報の提供に関する同意書」を頂いています。個人情報の流出が無いように全職員に周知徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		次に自分が何をしたらよいか見て分かるような集団形成を行っています。保護者の方とは連絡ノートで情報のやりとりをしています。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		つながる広場等、まだ療育を利用したことがない方向けの行事を開催しています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には会議で周知しています。ご家族には契約時に説明しています。また、訓練は月1回行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しています。年に2回、研修及び訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントのときや契約のときにお伺いしています。てんかんや重大なアレルギー等については、医師からの指示書を頂いています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	お弁当やおやつは保護者に準備して頂いています。お弁当の注文も出来ませんが、その際にはアレルギーの有無を再確認するとともにアレルギー対応の弁当ではないことを説明したうえで注文を受けています。アレルギーを越えるものや、もしアレルギー反応が出たときの対応方法については契約時に保護者から聞き取りを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて、点検や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策について、契約時に取り組み内容を説明しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、毎日の朝礼と全職員での会議で情報を共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		県からの通知や本社の指示により研修を受講しています。また、定期的に社内研修を行なっています。受講後には内部研修として全職員に伝達しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	○		身体拘束を行わないということを、会社全体で統一した認識を持って療育を行っています。そのため、現在のところ個別支援計画書への記載はありません。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つながるチャコ第3教室

公表日 令和 8年 2月 6日

利用児童数 21名

回収数 6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	4	0	0	身体を動かすのには少し狭いような気がします。	ご意見ありがとうございます。限られたスペースの中で、活動できる空間を少しでも広く確保できるよう、引き続き環境整備を行っていきます。また、広い空間で体を動かすことができるようなイベントを長期休暇等に今後も企画してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	0	1	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0	当事業所では「身辺自立」「集団適応」「学習支援」を療育の三本柱として支援しています。身辺自立ではスモールステップの目標を組み重ねていくことで、お子様方が苦手なことでチャレンジしたり、みんなと一緒に取り組む事で達成感や自己肯定感を感じながら、成長していけるよう支援を行っていきます。 集団適応では苦手な事や新しいことでもみんなと一緒に取り組むことで「やってみたら楽しかった」と思えるのが集団療育の強みだと思います。自分から挑戦したいと思えるような魅力あるプログラムを作成し支援してまいります。また歩行訓練で集団に合わせて一定のペースで歩くことで脳が活性化され、集団適応できることを目的としております。悪天候のときは室内での活動を充実させるなど、天候状況や安全確保に配慮し、今後も実施してまいります。 学習支援では職員全員がお子様の様子に合った「ちょうどいい」教材について話し合いながらそれぞれにあったものを選び、お子様が自己肯定感を高めながら、学んでいけるよう取り組んでいます。また、将来の就労に向けて、あいさつや姿勢などを学ぶ場としても力めています。今後もお子様のそれぞれの様子を見極めながらより良い支援が行えるよう努めてまいります。 日ごろの療育の中で気づいた事をご家庭と共有させていただき、お子様のさらなる成長につなげられるよう、今後も細やかな情報提供をしていきます。お子様方が将来社会で自立した生活を送っていけるよう、お子様とご家族、関係機関とも連携を取り、将来につながる支援を心掛けてまいります。	当事業所では「身辺自立」「集団適応」「学習支援」を療育の三本柱として支援しています。身辺自立ではスモールステップの目標を組み重ねていくことで、お子様方が苦手なことでチャレンジしたり、みんなと一緒に取り組む事で達成感や自己肯定感を感じながら、成長していけるよう支援を行っていきます。 集団適応では苦手な事や新しいことでもみんなと一緒に取り組むことで「やってみたら楽しかった」と思えるのが集団療育の強みだと思います。自分から挑戦したいと思えるような魅力あるプログラムを作成し支援してまいります。また歩行訓練で集団に合わせて一定のペースで歩くことで脳が活性化され、集団適応できることを目的としております。悪天候のときは室内での活動を充実させるなど、天候状況や安全確保に配慮し、今後も実施してまいります。 学習支援では職員全員がお子様の様子に合った「ちょうどいい」教材について話し合いながらそれぞれにあったものを選び、お子様が自己肯定感を高めながら、学んでいけるよう取り組んでいます。また、将来の就労に向けて、あいさつや姿勢などを学ぶ場としても力めています。今後もお子様のそれぞれの様子を見極めながらより良い支援が行えるよう努めてまいります。 日ごろの療育の中で気づいた事をご家庭と共有させていただき、お子様のさらなる成長につなげられるよう、今後も細やかな情報提供をしていきます。お子様方が将来社会で自立した生活を送っていけるよう、お子様とご家族、関係機関とも連携を取り、将来につながる支援を心掛けてまいります。
	6	事業所が説明している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8	個別支援計画書には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		
	9	個別支援計画書に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	2	3		
保護 者へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0	いつもありがとうございます。	いつもつながる療育支援センターの療育にご理解、ご協力を頂きありがとうございます。社会の中で生きる力を育む事ができるよう、引き続ききめ細やかに日々の支援を行って参ります。お子様の様子で気になることなどありましたらいつでもお気軽にお声かけ下さい。
	13	個別支援計画書に基づき、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	0	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、非常時の対応（事故・災害・感染症等）について、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	2		安全を確保し、お子様方に安心して過ごしていただけますよう、引き続き月1回の避難訓練や防災計画の整備など行っておりま す。 感染症情報や非常災害時の情報伝達、事前のお便り配布など、迅速で適切な情報提供で、安心してご利用していただけるよう努めてまいります。 コロナウィルスやインフルエンザなどの感染症予防についても今後も細心の注意を払いながら、続けてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための取り組みについて周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4	2	0	0	子供の成長が見えます	ありがとうございます。引き続き職員間での情報共有を徹底し、成長につながる支援を提供できるようよりいっそう努めてまいります。また、お子様の様子で気になることなどありましたらいつでもお気軽にお声かけ下さい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1	4	1		いつも子供の成長に寄り添っていただきありがとうございます。利用にあたり、1つ見直していただけないかと思うことがあります。警報発令時のキャンセル料については、大雪警報などの警報発令時、チャコの送迎が中止され、保護者の送迎が必要になります。安全上仕方ないことではありますので、送迎に関しては理解できるのですが、安全のために仕方なく利用をキャンセルしなくてはなりません。その時のキャンセル料が保護者側の負担になってしまうところを見直していただけないかと思う点です。冬季はいつ発令されるかわからない警報です。当日キャンセルのチケットを切られてしまうのが保護者としては厳しいです。体調不良時など、どうしても必要になる時に使えなくなるので、お忙しい中とは存じますが、ぜひ一保護者の意見として受け止めていただければと思います。よろしくお願いたします。	ご意見を頂きありがとうございます。いっつもつながる療育支援センターの療育にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。また、警報発令時の対応にご理解頂きありがとうございます。今後もお子様の安心・安全を第一にご利用頂けるように、警報発令時の対応について社内で再度検討して参ります。何卒よろしくお願致します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1	0	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つながるゼミナール		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営規程、支援プログラム、利用者負担、支援の内容について細やかに説明し、保護者に理解して頂いていること。	わかりやすい言葉で伝えるようにしている。	今後も保護者の理解を得られるように丁寧に説明していく。
2	個別支援計画書作成にあたり、保護者のご要望を伺いながら作成し、それに基づいた支援を提供していると感じて頂いていること。	面談で保護者の要望をお伺いし、お子様の様子をしっかり観察するようにしている。	今後も面談時に保護者の要望を伺うとともに、日々の支援について密に保護者と共有していく。また、職員間で小さなことも共有していく。
3	保護者と密に情報共有をしていること。	連絡帳だけでは伝わりにくいことは、お電話やお会いして伝えるようにしている。	今後も保護者に丁寧に対応していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流がないこと。	地域の他の子どもとの交流の機会がないこと。	町内会や学校と連絡を取り合い、交流の機会を検討していく。
2	父母の会がなく、保護者同士の交流の場が少ないこと。	これまで保護者からのご要望がなく、父母の会は設置していない。	療育参観のときに保護者同士が交流しやすい雰囲気づくりしていく。
3	安全計画について計画どおりに実施しているが、保護者への周知が不足していること。	訓練を行ったときは連絡帳等でお知らせしているが、安全計画に基づいているものだとは認識されていない。	安全計画に基づいて訓練等を行っていることを、機会をみて伝えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月6日			
事業所名		公表日 令和8年2月6日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たしています。活動内容に合わせて机やイスを移動しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		放課後等デイサービスの人員基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		整理整頓を徹底し、余分な刺激が利用者に影響を与えないようにしています。入室後の片付けから、トイレ、増席まで、動線を意識し席の配置を工夫しています。また、一日の大きな流れを掲示したりホワイトボードに書くことで情報伝達しています。職員が介助することで車いすでの利用は可能ですが、トイレはバリアフリーにはなっておりません。今後の検討課題です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・換気を徹底し、衛生に気を配っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は設けておりませんが、パーテーションを用いて個別化した空間を作ることができます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援について振り返りを行い、気づきや問題点について話し合いを行なっています。全体会議・毎朝の朝礼で社内の全職員で情報共有しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回アンケートを実施し、業務の改善に繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談を行い、意見を聞く機会を設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県からの通知や連携機関からの案内により研修に参加しています。受講後は内部研修として全職員へ伝達しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPにて支援プログラムを公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	○		日頃の活動の中での児童の課題を踏まえ、保護者と相談しながら計画を作成しています。
	13	個別支援計画書を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		原案に基づいて個別支援計画書作成会議を開き、職員で共通理解を得た上で個別支援計画書を作成しています。
	14	個別支援計画書が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は職員間で共有しています。日々のミーティングで、支援が計画に沿っているか確認しながら支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用しています。出来る限り細かく確認し、職員間で情報共有しています。日々の行動について気が付いたことがあれば、ノートに記録しています。
	16	個別支援計画書には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインにのっとり、個別支援計画書に項目と支援目標、具体的な支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間計画に基づき職員で話し合い、1ヶ月ごとの療育プログラムを作成しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		療育プログラム作成時に、曜日による偏りがないように留意しています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成し、支援が行われているか。	○	集団での療育を基本としています。その中で児童の様子を観察し保護者の希望を取り入れて個別支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝のミーティングでその日の利用児童・療育内容・送迎などを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌日の朝礼で振り返りを行い、前日の支援の中での気付きや課題を職員間で共有しています。特に問題と感じられるケースについては、毎月開いている社内全体会議で話し合い今後の支援に繋げていくようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	個人ごとの「お客様ノート」(1日に1枚)にその日の支援内容・キャンセルの際の理由・その他の特記事項・利用料金等を記録しています。全体の支援については「業務日誌」に記録しています。そのほかに、問題点や気付いた事をノートに記入しておき、支援の振り返りや見直しに活用しています。
	23	定期的に面談(モニタリング)を行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月に1回保護者と面談を行います。日頃の様子をお伝えするとともに、家庭での様子を伺ったり個別支援計画についての希望をお聞きしています。
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	身辺自立、集団適応、学習支援を三本柱に、日々の支援を行っています。その中で、日常生活の基本的な動作や、遊びの中でルールを守ることが身に付くように支援しています。また、学習支援では、自己肯定感を高めるような工夫をしています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動の中で、個々に応じて選択する機会を設けるようにしています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に職員間で話し合いを持ちその児童の状況をまとめています。会議には児童発達支援管理責任者と支援員が出席し、より細かく児童の様子を各機関へお伝えしています。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	市役所や学校、相談支援事業所と連絡を取り合う体制が整っています。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○	送迎時に児童の様子をお聞きするとともに、1か月分の予定表を頂き下校時刻を確認しています。急な時間の変更の際は、保護者の方や学校から事前に連絡を頂くなど連絡体制が整っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談支援事業所や児童発達支援事業所と連携し情報を頂いています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	小・中学生を主な対象者としていますので障害福祉サービス事業所への移行は現在のところありません。中・高生対象の放課後等デイサービスへ移行する場合には、サービス担当者会議への出席や相談支援事業所を通して情報を提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	研修の案内を頂いた際にはできるだけ参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	機会があれば交流していきたいと考えています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援協議会児童支援部会に積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎日の送迎時や連絡帳でできる限り細かく丁寧にその日の様子をお伝えするように心がけています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者からご希望がある場合には定期的に面談を行い、ご家庭での様子の聞き取りと困りごとへの助言を行っております。また、本社と合同で保護者の方にご参加頂けるセミナーを開催しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	見学・契約の時に資料をお渡しして説明しています。変更があった場合には文書でお知らせし、新しいものをお渡ししています。
	37	個別支援計画書を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談でご希望を伺い、それに基づいて個別支援計画書を作成しています。
	38	個別支援計画書に基づいて支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。	○	面談や送迎時にお話をした上で、個別支援計画書の同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者からお話や相談があった際は丁寧に話を聞き対応するようにしています。相談支援事業所や本社と連絡を密にし、保護者の不安が軽減するように心がけています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会や父母の会はありません。療育参観日を設けており、その際に保護者同士が交流する機会があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	第三者委員会があります。契約時に説明しています。苦情があった際は本社の指示も受けながら迅速かつ丁寧に対応するようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	HPとSNSを中心に、活動の内容などを保護者や地域の方に情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	契約時に「個人情報の提供に関する同意書」を頂いています。個人情報の流出が無いように全職員に周知徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	次に自分が何をしたらよいか見て分かるような集団形成を行っています。保護者の方とは連絡ノートで情報のやりとりをしています。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	つながる広場等、まだ療育を利用したことがない方向けの行事を開催しています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には会議で周知しています。ご家族には契約時に説明しています。また、訓練は月1回行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画（BCP）を策定しています。年に2回、研修及び訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	アセスメントのときや契約のときにお伺いしています。てんかんや重大なアレルギー等については、医師からの指示書を頂いています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	お弁当やおやつは保護者に準備して頂いています。お弁当の注文も出来ませんが、その際にはアレルギーの有無を再確認するとともにアレルギー対応の弁当ではないことを説明したうえで注文を受けています。アレルギーを起こすものや、もしアレルギー反応が出たときの対応方法については契約時に保護者から聞き取りを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づいて、点検や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策について、契約時に取り組み内容を説明しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット報告書を作成し、毎日の朝礼と全職員での会議で情報を共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	県からの通知や本社の指示により研修を受講しています。また、定期的に社内研修を行っています。受講後には内部研修として全職員に伝達しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	○	身体拘束を行わないということを、会社全体で統一した認識を持って療育を行っています。そのため、現在のところ個別支援計画書への記載はありません。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つながるゼミナール

公表日 令和8年2月6日

利用児童数 49名

回収数 10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	1		ありがとうございます。皆様からこのようなご意見をいただき職員一同感謝いたします。今後も施設内外の清掃や点検整備、整理整頓など、皆様が安心安全に利用できるよう維持管理に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	2	0	1		当事業所では「身辺自立」「集団適応」「学習支援」を療育の三本柱として支援しています。身辺自立ではスモールステップの目標を積み重ねていくことで、お子様が苦手なことでもチャレンジしたり、みんなと一緒に取り組む事で達成感や自己肯定感を高めながら、成長していけるよう支援を行ってまいります。 集団適応では苦手な事や新しいことでもみんなと一緒に取り組むことで「やってみたら楽しかった」と思えるのが集団療育の強みだと思います。自分から挑戦したいと思えるような魅力あるプログラムを作成し支援してまいります。また歩行訓練で集団に合わせて一定のペースで歩くことで脳が活性化され、集団適応できることを目的としております。悪天候のときは室内での活動を充実させるなど、天候状況や安全確保に配慮し、今後も実施してまいります。 学習支援では職員全員がお子様の様子に合った「ちょつどいいい」教材について話し合いながらそれぞれにあったものを選び、お子様が自己肯定感を高めながら、学ぶの楽しさに向けて、あいさつや姿勢などを学ぶ場として力もつけています。今後もお子様のそれぞれの様子を見極めながらより良い支援が行えるよう努めてまいります。 日ごろの療育の中で気づいた事をご家庭と共有させていただき、お子様のさらなる成長につなげられるよう、今後も様々な情報提供をしていきます。 お子様が将来社会で自立した生涯を送っていただけるよう、お子様とご家族、関係機関とも連携を取り、将来につながる支援を心掛けてまいります。
	6	事業所が説明している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されていると思いますか。	9	0	0	1		
	8	個別支援計画書には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	1		
	9	個別支援計画書に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	3	0	2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	1	3		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	1		保護者の皆様には連絡帳などで日頃の様子を丁寧に教えて頂きありがとうございます。つながるゼミナールでも、日頃の様子を連絡帳や送迎の時などに詳しくお伝えできるよう努めていきます。お子様と保護者の方に安心してご利用していただくために、気軽に話せる雰囲気づくりに努めてまいりますので、お子様の様子で気になることなどありましたらいつでもお気軽にお声がけください。
	13	個別支援計画書に基づき、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7		0	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	2	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	1		

非常時 の 対 応	23	事業所では、非常時の対応（事故・災害・感染症等）について、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	2		安全を確保し、お子様方に安心して過ごしていただけますよう、引き続き月1回の避難訓練や防災計画の整備など行ってまいります。 感染症情報や非常災害時の情報伝達、事前のお便り配布など、迅速で適切な情報提供で、安心してご利用していただけるよう努めてまいります。 コロナウィルスやインフルエンザなどの感染症予防についても今後も細心の注意を払いながら、続けてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための取り組みについて周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	2	0	2		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		ありがとうございます。今後も魅力のある集団活動プログラムを作成して集団の中で自立につながっていきけるよう、きめ細かにお子さまの様子を見ながら支援をして参ります。また、お子さまの特性や様子に合わせ、より良い成長のために学校や、相談支援事業所、関係機関との連携も意識しながら、安心してご利用していただけるよう努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	4	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	2	0	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターつながる			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 9日		～	令和8年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 22日		～	令和8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営規程、支援プログラム、利用者負担、支援の内容について細やかに説明し、保護者に理解して頂いていること。	わかりやすい言葉で伝えるようにしている。	今後も保護者の理解を得られるように丁寧に説明していく。
2	個別支援計画書作成にあたり、保護者のご要望を伺いながら作成し、それに基づいた支援を提供していると感じて頂いていること。	面談で保護者の要望をお伺いし、お子様の様子をしっかりと観察するようにしている。	今後も面談時に保護者の要望を伺うとともに、日々の支援について密に保護者と共有していく。また、職員間で小さなことも共有していく。
3	保護者と密に情報共有をしていること。	連絡帳や送迎時にお話している。	今後も保護者に丁寧に対応していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流がないこと。	地域の他の子どもとの交流の機会がないこと。	町内会や学校と連絡を取り合い、交流の機会を検討していく。
2	父母の会がなく、保護者同士の交流の場が少ないこと。	これまで保護者からのご要望がなく、父母の会は設置していない。	療育参観のときに保護者同士が交流しやすい雰囲気づくりしていく。
3	安全計画について計画どおりに実施しているが、保護者への周知が不足していること。	訓練を行ったときは連絡帳等でお知らせしているが、安全計画に基づいているものだとは認識されていない。	安全計画に基づいて訓練等を行っていることを、機会をみて伝えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターつながる

公表日 令和 8年 2月 6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たしています。活動内容に合わせて机やイスを移動しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援センターの人員基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		整理整頓を徹底し、余分な刺激が利用児に影響を与えないようにしています。入室後の準備から着席まで、動線を意識し席の配置を工夫しています。また、一日の大きな流れを支援室内に掲示し情報伝達しています。バリアフリーに関しましては、1階と2階のプロアとも段差などはなく多目的トイレを設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・換気を徹底し、衛生に気を配っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は設けておりませんが、パーティションを用いて個別化した空間を作ることができます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援について振り返りを行い、気づきや問題点について話し合いを行なっています。全体会議・毎朝の朝礼で社内の全職員で情報共有しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回アンケートを実施し、業務の改善に繋がっています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談を行い、意見を聞く機会を設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県からの通知や連携機関からの案内により研修に参加しています。受講後は内部研修として全職員へ伝達しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて支援プログラムを公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日頃の活動の中での児童の課題を踏まえ、保護者と相談しながら計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		原案に基づいて個別支援計画書作成会議を開き、職員で共通理解を得た上で個別支援計画書を作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は職員間で共有しています。日々のミーティングで、支援が計画に沿っているか確認しながら支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用しています。出来る限り細かく確認し、職員間で情報共有しています。日々の行動について気が付いたことがあれば、ノートに記録しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインののっとり、個別支援計画書に項目と支援目標、具体的な支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間計画に基づき職員で話し合い、1ヶ月ごとの療育プログラムを作成しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		療育プログラム作成時に、曜日による偏りがないように留意しています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	集団での療育を基本としています。その中で児童の様子を観察し保護者の希望を取り入れて個別支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝のミーティングでその日の利用児童・療育内容・リーダーなどを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌日の朝礼で振り返りを行い、前日の支援の中での気付きや課題を職員間で共有しています。特に問題と感じられるケースについては、毎月開いている社内全体会議で話し合い今後の支援に繋げていくようにしています。
関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	個人ごとの「お客様ノート」(1日に1枚)にその日の支援内容・キャンセルの理由・その他の特記事項・利用料金を記録しています。全体の支援については「業務日誌」に記録しています。そのほかに、問題点や気付いた事をノートに記入しておき、支援の振り返りや見直しに活用しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月に1回保護者と面談を行います。日頃の様子をお伝えするとともに、家庭での様子を伺ったり個別支援計画についての希望をお聞きしています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に職員間で話し合いを持ちその児童の状況をまとめています。会議には児童発達支援管理責任者と支援員が出席し、より細かく児童の様子を各機関へお伝えしています。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	市役所や保育園、学校、相談支援事業所と連絡を取り合う体制が整っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	相談支援事業所を通して、担当者会議を開催したり、保育所等の先生方が見学にいらっしたり、情報共有を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	特別支援学校に足を運ばせて頂き、情報共有する場を設けています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	今後、機会を設けていきたいです。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	○	研修の案内を頂いた際はできるだけ参加しています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援協議会児童支援部会に積極的に参加しています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	今後、検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎日の送迎時や連絡ノートでできる限り細かく丁寧にその日の様子をお伝えするように心がけています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者からご希望がある場合には定期的に面談を行い、ご家庭での様子の聞き取りと困りごとへの助言を行っております。また、本社と合同で保護者の方にご参加頂けるセミナーを開催しております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	見学・契約の時に資料をお渡しして説明しています。変更があった場合には文章でお知らせし、新しいものをお渡ししています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談でのご希望を伺い、それに基づいて個別支援計画書を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	面談や送迎時にお話した上で、個別支援計画書の同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者からお話や相談があった際は丁寧に話を聞き対応するようにしています。相談支援事業所や本社と連絡を密にし、保護者の不安が軽減するように心がけています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者や父母の会はありません。療育参観日を設けており、その際に保護者同士が交流する機会があります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	第三者委員会があります。契約時に説明しています。苦情があった際は本社の指示も受けながら迅速かつ丁寧に対応するようにしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	HPとSNSを中心に、活動の内容などを保護者や地域の方に情報を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	契約時に「個人情報の提供に関する同意書」を頂いています。個人情報の流出が無いように全職員に周知徹底しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	次に自分が何をしたらよいかわかるような集団形成を行っています。保護者の方とは連絡ノートで情報のやりとりをしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	つながる広場等、まだ療育を利用したことがない方向けの行事を開催しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には会議で周知しています。ご家族には契約時に説明しています。また、訓練は月1回行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画（BCP）を策定しています。年に2回、研修及び訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	お弁当やおやつは保護者に準備して頂いています。お弁当の注文も出来ませんが、その際にはアレルギーの有無を再確認するとともにアレルギー対応の弁当ではないことを説明したうえで注文を受けています。アレルギーを起こすものや、もしアレルギー反応が出たときの対応方法については契約時に保護者から聞き取りを行っています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	お弁当やおやつは保護者に準備して頂いています。お弁当の注文も出来ませんが、その際にはアレルギーの有無を再確認するとともにアレルギー対応の弁当ではないことを説明したうえで注文を受けています。アレルギーを起こすものや、もしアレルギー反応が出たときの対応方法については契約時に保護者から聞き取りを行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づいて、点検や訓練を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策について、契約時に取り組み内容を説明しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット報告書を作成し、毎日の朝礼と全職員での会議で情報を共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	県からの通知や本社の指示により研修を受講しています。また、定期的に社内研修を行っています。受講後には内部研修として全職員に伝達しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束を行わないということを、会社全体で統一した認識を持って療育を行っています。そのため、現在のところ個別支援計画書への記載はありません。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターつながる

公表日 令和 8年 2月 6日

利用児童数 61名

回収数 18名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制・ 設備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	3	0	・施設内の様子がわからないので子どもの話でしかイメージできない。	・ご意見ありがとうございます。年に2回、療育参観を実施しておりますので、お子様の様子や活動の内容等をご覧いただけたらと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	2	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	0	・保育園から提示された問題点を改善するための活動がわかりにくい。	・ご意見ありがとうございます。保育所等との情報共有を図り、共通課題として療育活動に取り入れていきたいと思っています。
	6	事業所が説明している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されていると思いますか。	17	1	0	0		
	8	個別支援計画書には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	2		
	9	個別支援計画書に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	3	4		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	3	4		
保護 者へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		保護者の皆様には連絡帳などで日頃の様子を丁寧に教えて頂きありがとうございます。つながるでも、日頃の様子を連絡帳や送迎の時に詳しくお伝えできるよう努めていきます。お子様と保護者の方に安心してご利用していただくために、気軽に話せる雰囲気づくりに努めてまいりますので、お子様の様子で気になることなどありましたらいつでもお気軽にお声がけください。
	13	個別支援計画書に基づき、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	2	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	2	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	3	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0		

非常時の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	2		
	23	事業所では、非常時の対応（事故・災害・感染症等）について、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	3		
満足度	25	事業所より、子どもの安全を確保するための取り組みについて周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1		安全を確保し、お子様方に安心して過ごしていただけますよう、引き続き月1回の避難訓練や防災計画の整備など行っておりま す。 感染症情報や非常災害時の情報伝達、事前のお便り配布など、迅速で適切な情報提供で、安心してご利用していただけるよう努めてまいります。 コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症予防についても今後も細心の注意を払いながら、続けてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	2	4		
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3	0	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2	1	0		ありがとうございます。今後も魅力のある集団活動プログラムを作成してお子様の成長につながっていくよう、きめ細かにお子さまの様子を見ながら支援をして参ります。また、お子さまの特性や様子に合わせ、より良い成長のために相談支援事業所、関係機関との連携も継続しながら、安心してご利用していただけるよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援つながる			
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～	令和8年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	74	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和8年1月22日		～	令和8年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月20日		～	令和8年1月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営規程、支援プログラム、利用者負担、支援の内容について細やかに説明し、保護者に理解して頂いていること。	わかりやすい言葉で伝えるようにしている。	今後も保護者の理解を得られるように丁寧に説明していく。
2	個別支援計画書作成にあたり、保護者のご要望を伺いながら作成し、それに基づいた支援を提供していると感じて頂いていること。	面談で保護者の要望をお伺いし、お子様の様子をしっかりと観察するようにしている。	今後も面談時に保護者の要望を伺うとともに、日々の支援について密に保護者と共有していく。また、職員間で小さなことも共有していく。
3	訪問先から信頼を頂いており、訪問の日程調整や時間調整などには、協力いただいている。	訪問の時間には遅れないようにしている。日程調整には、業務の忙しい時間帯を考慮してお伺いしている。	関係機関と保護者、お子様と必要時に担当者会議を開き、支援の共有と役割分担を行えるように、調整していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の先生方と話し合う時間が少ないこと。	訪問の際に時間を設ける事が難しい。	訪問先側の時間に合わせて訪問支援員が足を運び、お子様の課題や今後の対応について情報共有の場を設けていく。
2	関係機関との情報共有の場を設ける機会が少ないこと。	関係機関との日程が合わない。	出来る限り、調整していきますが、日程調整が難しい時は、電話などで情報共有していきたい。
3	訪問後の保護者への報告が十分でないこと。	連絡カードの記入の仕方。	連絡カードに実際の状況や支援の仕方なども記入し、先生方との支援の方法の共有があれば記入していくようにする。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8年 2月 6日				
保育所等訪問支援つながる						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 施設・ 運営・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		絵本や必要に応じてグニャグニャボール、笛 など教材を準備しているが、個別に対応でき ているか疑問な所があるので、検討が必要。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	希望数が多く、十分な時間をかけているとは 言えず、職員の配置が十分とはいえないの で、要検討。	職員の増員を検討していきます。
業務改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。		○	その都度振り返りを行ってはいるが、業務改 善までには至っていない。	今後広く参画できるように検討していきま す。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご意見を頂いた事を真摯に受け止め今後の業 務改善に努めていく。	今後も継続して業務改善できるように評価を 実施していきます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		従業者の意見を把握しているが、業務改善ま では至っていない。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	外部評価は受けていない。	今後、検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		常に、支援方法の研修や虐待防止研修などに 参加している。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		他事業所とも情報共有して連携し、お子様の 評価を行っている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		家族様とも面談をし、必要に応じて担当者会 議を開いて、共通理解を推進し、最善の利益 を考えている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		今のところ、数名の方のみ意向を盛り込んで いますが、全てのお子様という訳ではない。	訪問先や担任にも相談し、計画を提案し、共 有できるようにしていきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		職員間で共有し計画に沿った支援を心がけて いる。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ボーテーション評価を用いて評価し、適宜作業療 法士としての視点で評価している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		具体的な支援を設定しているつもりだが、十 分ではないかもしれない。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		職員間で共有され、計画に沿った支援がなさ れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。		○	支援内容の共有はされているが、役割分担ま ではいっていない。	今後検討していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りを行い、気付いた点を共有しても らっている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		訪問先の理念や支援手法を尊重している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		記録を取り、確認検証して、改善につなげて いる。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○		モニタリングを実施している。適切な見直し を実施している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要な時に、状況を理解したものが参加して情報提供や検討をしている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携の機会をしようと、調整したが、ご家族の参加が出来なかった為に、実現しなかった。	定期的な開催を検討していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所に学校の先生がいらしたときには、情報を提供し、共有している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		作業療法士の研修会などに参加して、質の向上に努めている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の役員が当施設の施設長なので、参加して情報を頂いている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡カードなどで共通理解を努力している。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者からご希望がある場合には定期的に面談を行い、ご家庭での様子の聞き取りと困りごとへの助言を行っております。また、本社と合同で保護者の方にご参加頂けるセミナーを開催しております。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		年度初めにご挨拶に伺い、説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年に2回モニタリングの機会を設けて確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今後検討していく。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPとSNSを中心に、つながる療育支援センターの活動の内容などを保護者や地域の方に情報を発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意している。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		適宜助言や支援を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		毎回行っているわけではない。訪問先に時間がある時は行っている。	毎回、カンファレンスの焦点を決めて提案していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		連絡カードにて共有している。または必要に応じ電話対応をしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意している。	

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		助言を行っている。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行われている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修機会を設けて、対応について議論する場を設けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		重要事項説明書などに記載して説明している。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援つながる

公表日 令和 8年 2月 6日

利用児童数 74名

回収数 23名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9	1	0	12	・職員の人数が足りていないようです。しかし、簡単に増やせるものではないと承知しております。増員できたら、もっと頻度が多くなるかなと思っております。	・ご意見ありがとうございます。今後、検討していきます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	17	4	0	2		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	20	3	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	21	2	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	17	2	0	4	・いつもありがとうございます。	・いつも保育所等訪問支援事業にご理解とご協力を頂きありがとうございます。今後もお子様の成長のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	6	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	3	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15	3	0	5		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	3		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2	0	2		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	18	0	0	5		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1	0	1	・説明をして頂いています。	・ありがとうございます。ご不明な点がありましたらいつでもご相談下さい。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	15	1	3	4		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	21	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	1	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4	0	1		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2	0	2		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	16	1	0	6		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	15	1	0	7		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	19	3	1	0		
非常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	7		・アンケートにご回答頂きありがとうございます。つながる保育支援センターではホームページやSNSにて情報発信を随時しておりますのでぜひご覧ください。個人情報に厳重に取り扱っております。緊急時の対応については、訪問先と連携して実施させて頂いております。今後も安心してご利用頂けるよう努めて参ります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	3		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10	1	0	12		
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	5	・子どもの成長が見えます。 ・保育所等訪問支援の後の学校の先生方が子どもを見る際に、出来ない部分ばかり目が行き、子どもにマイナスなイメージが付いてしまっている気がする。保育所等訪問支援をこのまま続けるか迷う時がある。	・ありがとうございます。これからもお子様の成長をご家族様と一緒に共有させて頂きたいと思っております。 ・ご意見ありがとうございます。訪問の際、先生方と成長した所はもちろん、課題も共有させて頂いております。課題を成長に繋げられるようお手伝いさせて頂きます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	19	1	1	2		
	28	事業所の支援に満足していますか。	17	6	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 8年 2月 6日

保育所等訪問支援つながる

利用児童数

59名

回収数 27名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	1			
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2				
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・いつも大変お世話になっております。訪問支援員の方の子ども退への関わり方を教えていただいたり、つながる通所時の様子をお聞きしたりすることができ、ありがたく思っております。これからもよろしくお願いいたします。 ・いつもお世話になっております。訪問して頂いた時に「こんな行動が見られたらどんな関わりをすると良いのか」という質問に答えて下さるので参考にしています。訪問支援員の関わり方を実際に見ることで、どんな口調や表情で伝えるとわかりやすいのかも学ばせていただいています。一緒になって子どもの成長を喜んでくださり、園とつながると一緒に情報を共有して保育にあたることができていると感じます。これからもよろしくお願いいたします。					・いつも快く訪問を受けて頂き、ありがとうございます。今後ちご家庭から頂いた情報や児童発達支援センターの関わりなどを共有させて頂き、より良い支援に努めさせて頂きます。	